



尾島地区

尾島上町 祇園祭



～ 尾島上町の皆さんにお話を伺いました ～

16日は猛暑の中、午後から子ども神輿を運行しました。「わっしょい！わっしょい！」と声をかけ合い、水しぶきをたくさん浴びながら境内を練り歩きます。育成会長の原さんは、「準備は大変ですが、本番はとても楽しく、地域の皆さんと一緒に良い経験ができました」と感想をお話くださいました。

15日は早朝から地域住民が協力して準備を行い、その後神社総代や代表者により神事が行われました。そして、夕方からは祇園太鼓の披露。これには子どもからお年寄りまで、地域住民が揃って参加します。練習から多くの方が参加し、本番では見事な演奏により、街には元気な太鼓の音が響き渡りました。

7月15日（土）、16日（日）の2日間にわたり、尾島町地区において祇園祭が開催されました。江戸時代より始まった「須賀神社」のお祭り、尾島町地区の伝統行事です。近年まで天王様と呼ばれる神輿が町内を練り歩き、大きな屋台が引き回されたそうです。本宮の「須賀神社」が所在する尾島上町では、祇園太鼓と子ども神輿が現在でも伝承されています。



祇園祭の様子



須賀神社

地域のお宝発見 ～太田市生活支援体制整備事業～

地域行事の大切さとは…

楽しかった思い出は、郷土愛へ

尾島上町では、祇園祭で披露する太鼓の練習を2週間前から開始しました。本番前からこうした練習や企画など、さまざまな準備を地域の各団体が協力して行っています。

地域のお祭りなどの行事は、伝統として継承されています。この尾島上町でも神社総代を中心とした地域をよく知るお年寄りが、かつて子供の頃に経験した思い出を楽しそうに振り返りながら語っていました。何となく関わっていた地域行事も

ただ「楽しかった思い出」としてだけでなく「またやりたい、行きたい、祭りを盛り上げたい」という思いや、繰り返すうちに、先代たちが積み上げた伝統や運営への感謝の思いが生まれ、つまり「郷土愛」を育む大切な役割を持つているとわかったそうです。

知名度のあるものからローカルなものまで、大小関わらず多様な地域行事がありますが、それぞれにつながりやまとまりが存在し、地域が結集しています。多くの顔が見える関係や交流ができ、地域が元気になると思います。はじめは行事を楽しむことだけが目的でも、参加して地域を知ることが伝統をつなぐ第一歩になっています。



練習初日に参加した皆さん（尾島上町会館）



練習初日の様子



思い出を語る地域の仲間たち

地域福祉係のInstagram(インスタグラム)を開設しました！

市内の地域福祉の推進をするため、各種事業の情報や地域のお宝について発信しています。

フォローやいいね！など、是非よろしくお願いします！

こちらを読み取ってね→→→

Follow me!

